

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 1 月 16 日作成)

小委員会名	PC 部材構造性能小委員会		主 査 名：河野 進 就任年月：2023 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (プレストレストコンクリート構造運営委員会)		委員長名：五十田博 (主 査 名：菅田昌宏)
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>PC 部材構造性能小委員会は、PC 規準小委員会と協力し、「PRC (III 種 PC) 構造設計・施工指針・同解説」の改定、「PC 造建築物の保有水平耐力計算指針 (案)・同解説」や「PC 造建築物の性能評価型設計施工指針 (案)・同解説」の案をとる改定作業について、本委員会担当部分の原稿を作成する。また、PC 部材の構造性能評価や各種限界状態に関する研究成果を、今後の指針改定に活かし、さらに精緻かつ高度化した構造性能評価の考え方や手法を提示する。</p> <p>初年度 (2021 年度)： 「PC 設計施工規準・同解説」の最終稿を完成させ、刊行した。「PRC (III 種 PC) 構造設計・施工規準・同解説」の改定項目を検討した。</p> <p>2 年度 (2022 年度)： III 種 PC 規準・同解説の改定案を提案した。また、「PC 保有水平耐力指針」と「PC 性能評価指針」の (案) をとるための原稿確認作業を行った。</p> <p>3 年度 (2023 年度)： 「PC 保有水平耐力指針」や「PC 性能評価指針」の (案) をとる原稿執筆作業を行う。部材の性能予測方法をさらに精度よく使いやすいものにするため、各部材の改良案を討議し、新規に調査・研究が必要な項目を精査した。</p> <p>4 年度 (2024 年度)： アンボンド PC 部材の骨格曲線に関して、特性点を決める方法を、なるべく抵抗機構に基づいた方法に切り替えるための準備計算、データ収集を行う。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：河野 進 (東京工業大学) 幹事：岸田慎司 (芝浦工業大学)、谷 昌典 (京都大学) 委員：菅田昌宏 (竹中工務店)、田中典男 (高周波熱錬)、阿波野昌幸 (近畿大学)、北山和宏 (首都大学東京)、森山毅子彦 (大成建設)、岸本一蔵 (近畿大学)、鳥屋隆志 (オリエンタル白石)、市澤勇彦 (ピーエス三菱)、坂下雅信 (国土技術政策総合研究所)、岩見遼平 (建研)、渡邊秀和 (建築研究所)		
設置 WG (WG 名：目的)	—		
2023 年度予算	240,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス： —	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物	—
講習会	—
催し物 (シンポジウム・セミナー等)	—
大会研究集会	—
対外的意見表明等	—
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 『PRC (III種PC) 構造設計・施工指針・同解説』の改定原稿を査読し、査読意見を小委員会内でまとめ、PC構造運営委員会と意見交換を行った。 2. 「PC 性能評価指針」の (案) をとるための基本方針について、小委員会および PC 構造委員会で承認を受けた。
委員会活動の問題点	なし